

独立行政法人国立病院機構



南岡山医療センター

広報誌

〒701-0304 都窪郡早島町早島4066  
TEL.086-482-1121

発行日 平成29年11月  
発行所 独立行政法人国立病院機構  
南岡山医療センター  
責任者 谷本 安

# そよかぜ

2017年11月 Vol.23

秋号

## 病院の理念

私たちは

「ゆるぎない信頼、心からの満足」  
をしていただける病院を目指します。

人としての尊厳を重視した上で専門医療(国の定める政策医療)に誇りを持ち、地域の皆様が安心して心身ともに癒される医療を受けていただけるよう全力を尽くします。

## CONTENTS

名誉院長 院長就任祝賀会	2
地域医療連携懇親会を開催しました	
第12回倉敷地区重症児の在宅医療を考える会	3
開催のお知らせ	
第8回岡山県神経疾患緩和ケア研究会が開催されました	3
職場紹介-3階病棟	4
岡山アレルギーシンポジウム2017サマーセミナーを開催して	5
南岡山スピリチュアルケア事例検討会を行いました	5
早島町ふれあい講座を実施しました	6
癒し課長みなみ君への取材がありました	6



# 名誉院長・院長就任祝賀会 地域医療連携懇親会を開催しました

国立病院機構 南岡山医療センター  
事務部管理課 庶務係長 杉山 寿



当院では昨年度末に前院長の 宗田 良 先生がご退官、名誉院長に就任され、新たに4月1日より 谷本 安 先生が新院長に就任されましたが、この度、宗田 良先生の名誉院長就任を祝し、また谷本 安 新院長の益々のご活躍とご多幸を祈念するとともに、日頃からお世話になっている岡山大学、都窪医師会、岡山県医師会の先生方をお招きし、当院職員、病院OBを交え、地域間の親睦を深め更なる交流を図ることを目的として、平成29年9月18日(月)12時より、ホテルグランヴィア岡山において、就任祝賀会及び地域医療連携懇親会を執り行いました。

台風18号の接近により一時開催が危ぶまれたものの、前日のうちに岡山県を通過し、当日は台風一過の晴天に恵まれました。祝賀会・懇親会には地域の先生方、病院OB、職員等多数の方々にご出席頂き、来賓を代表して岡山県医師会会長 石川 紘 先生、都窪医師会会長 木村 丹 先生及び岡山大学大学院医歯学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器内科学教授 前田 嘉信 先生から、当院の歴史や宗田・谷本両先生との思い出などを交えた心温まるご祝辞を頂戴いたしました。

その後、木畑名誉院長の乾杯ではじまった祝宴では、出席された先生方がいたる所で打ち解けて歓談され、貴重な意見交換の場となったようです。また病院OBと現病院職員が旧交を温め合うなど、年次の垣根を越えた素晴らしい会になったと思います。

今後も、当院の医療が多くの皆様に支えられて成り立っていることへの感謝を忘れず、また皆様のご期待に応えられるよう、新たな体制のもと職員一丸となってより良い医療の実現に努めてまいります。

ご出席頂きました皆様、ありがとうございました。

## 第12回

# 倉敷地区重症児の在宅医療を考える会開催のお知らせ

## テーマ：てんかんの基礎と発作の対処法を知ろう

「倉敷地区重症児の在宅医療を考える会」では地域で暮らす重症心身障がい児・者（以下重症児・者と略します）の生活の質を向上させることを目的に、在宅での医療環境などをはじめとした様々なテーマについて、医療、福祉、教育など多方面の関係者が集まり、情報交換し相互理解を深めています。

今回は、日本てんかん学会の共催のもと、てんかんの基礎および、てんかん発作の種類と対処法について、医師による実演を含め、わかりやすくお話していただきますので、特に学校および通所サービスの現場などで役立つ内容と思います。

また、当会で昨年作製した【重症児の在宅ケア】のDVDと冊子についてのアンケート結果についてご報告いたします。お忙しい時期とは存じますが、今回は特に学校の先生や福祉関係者のご参加をお願いいたします。

1. 日時：平成29年11月23日(木曜日、祝日) 15:00~17:00

2. 場所：南岡山医療センター 大会議室

3. プログラム

15:00 開会

15:05~15:30 報告

①岡山県小児在宅医療の調査結果報告

②【重症児の在宅ケア】のDVDと冊子についてのアンケート集計報告

15:30~17:00

講演 ① てんかんってどんなもの？

岡大病院 小児神経科 花岡義行先生

② 目の前でてんかん発作！さーどうする？

南岡山医療センター 小児神経科 吉永治美先生

17:00 閉会

4. 参加費：無料 ※参加される方は、同封しました申込用紙にご記入の上、11月15日(水)までに下記事務局までFAXにてお申し込みください。FAX(086)483-0146

5. 事務局：南岡山医療センター 療育指導室 峯石 裕之

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066

電話(086)482-1128ダイレクトイン5270

FAX(086)483-0146

メールアドレス:mineishi.hiroyuki@momc.jp

共催：日本てんかん学会

後援：倉敷市(申請中)、岡山県教育委員会(申請中)、倉敷市教育委員会(申請中)



## 第8回

# 岡山県神経疾患緩和ケア研究会が開催されました

9月10日(日曜)に南岡山医療センター大会議室にて第8回岡山県神経疾患緩和ケア研究会が開催されました。

研究会は年に2回開催されており、今回は小グループに分かれて症例を検討するカンファレンス形式の会でした。緩和ケア研究会という名前ですが、神経難病は呼吸器装着など倫理的に悩むことも多いため、臨床における倫理的な問題が大きなテーマです。臨床倫理とは「患者・家族にとっての、よりよい医療とは何かを、関係者すべての価値観を尊重しながら多職種で考えること」で大事なことですが難しいことでもあります。岡山県内の神経内科医、看護師、ケアマネージャー、ソーシャルワーカーなどの方々に来院いただき、用意されたお菓子を食べながら熱い討論が行われました。



# 3階病棟の紹介

スタッフステーション

3階病棟 高岡 佐奈美

3階病棟は、呼吸器内科、血液内科、消化器科、整形外科などの混合病棟です。肺がんや血液腫瘍に対するがん化学療法、放射線治療、消化器疾患の内視鏡検査・治療、手や大腿骨の骨折などの手術、リハビリなど急性期の積極的な治療から、状態が安定した退院準備までの幅広い時期の患者さんの看護を行っています。



がんの治療は病気の症状に加えて、薬の副作用や治療の合併症を伴い、さらに長期間となると患者さんの身体的、精神的な負担感は増していきます。今年度よりがん看護専門看護師が中心となり、患者さんの苦痛が最小限となるよう症状を予測してケアしていくことに努めています。また患者さんの意思を尊重した精神的な支援をチームで行えるよう勉強会、カンファレンスなど積極的に取り組んでいます。

多くは高齢の患者さんであり、療養環境の変化に伴う認知症状の悪化が治療経過に影響することもあります。病気に伴う急激な病状変化を予測し対応するのはもちろん、患者さんに治療や療養生活を安心して受けて頂けるよう、環境を整えています。経験年数の若い看護師はベテラン看護師に基本的な看護技術、姿勢について指導を受け、患者さん、ご家族の多様なニーズにも応えられるよう努力しています。入院時より患者さんの社会復帰を見据え、患者さん、ご家族が退院後も安心して生活ができるようなサポート体制など、患者さんに一番寄り添える者として、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚技士、医療ソーシャルワーカーなどのチームへ情報発信・調整も行っています。

治療経過が長くなると、患者さんの身体的苦痛は回復意欲へも影響し、ご家族の不安も増していきます。大切な家族の病気の経過が心配で心を痛めておられるご家族も看護の対象であることへの配慮も心がけています。患者さんの回復を願い、一緒に悩み考え、患者さん、ご家族にとって満足していただける医療・看護を目指しています。



## 岡山アレルギーシンポジウム2017 サマーセミナーを開催して

国立病院機構 南岡山医療センター

看護部 小児アレルギーエドゥケーター 黒岡 昌代

猛暑の中、7月29日に当院大会議室にて岡山アレルギーシンポジウム2017サマーセミナーを行いました。今年のテーマは「鼻炎・喘息の最新治療2017 -気道アレルギーを考える-」とし、岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学の檜垣貴哉先生を院外講師として迎え開催することができました。参加者数は79名と近隣の地域の方々が参加してくださいました。アンケートでは「勉強になった」「わかりやすい」とのお言葉をいただき、スタッフ一同とてもうれしく思っております。

岡山アレルギーシンポジウムサマーセミナーは、喘息児夏期教室のプログラムの中にあつた講演会を発展させ、平成6年から始まりました。ここ数年のメインテーマは、「食とアレルギー」「花粉症・喘息・食物アレルギーの新しい治療法」「大気汚染とアレルギー」を開催してきました。セミナーの内容は、アレルギー疾患について、病態、治療、環境整備などの自己管理や学校での配慮や取り組み等様々な角度から、医師だけでなく看護師、管理栄養士、教育関係者などの多職種からの講義を行ってきました。今回は初めての試みとして、医師の講義に加え、コメディカル4名が講義をさせていただき、それぞれのコメディカルス

タッフがアレルギー疾患に悩む方々へどのような支援ができるか伝えることができました。

また当院では、平成28年度からアレルギーチーム活動を開始し、今回のような市民向け教育活動の企画と開催や、アレルギー診療に携わる複数の診療科の医師や薬剤師、管理栄養士、メディカルソーシャルワーカー、看護師での情報の交換と共有を行っています。現在は、平成30年2月25日に開催する「岡山アレルギー疾患講演会（アレルギー協会中国支部主催）」メインテーマ「アレルギーのいまとみらい」に向け取り組んでいます。アレルギー疾患に関する現状と今後についてお伝えしたいと考えております。

アレルギー疾患に関する情報は玉石混交と言われています。アレルギー疾患に悩む方々が間違つた情報、古い情報に振り回されることが無くなるよう、当院では今後も科学的根拠に基づいた適切な情報の発信を目指しアレルギーシンポジウムへ取り組んでいきますので、お困りの方がおられたらぜひ参加を勧めただけければと存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。



## 南岡山スピリチュアルケア事例検討会を行いました

CSTメンバー 栄養士 森 廣

平成29年7月7日に、南岡山医療センター内でスピリチュアルケア事例検討会が行われました。この取り組みは昨年開始されたもので今回が第2回目です。スピリチュアルケアとは、スピリチュアルペイン（終末期患者さんのもつ、人生の意味や自身の価値への喪失、死への恐れなどの悩みに伴う苦痛）に寄り添いケアすることをいいます。終末期患者さんと接すると、「なぜ私だけが」「私の人生は何だったのか」「家族に迷惑をかけて、自分には何の価値もない」という言葉を投げかけてくることがあります。こういったスピリチュアルペインに対し医療者はどういふ援助が求められるのか、院内の事例を用いてグループワーク方式で考えました。

集まったのは主に地域の病院やクリニックなどのスタッフの方々に、初対面ながらもわきあいあいとした雰囲気では進みました。事例検討では、当院スタッフと患者さんの会話記録から読み取れる苦痛を話しあつたり、スピリ

チュアルケアの基本手技である傾聴と反復の練習も行つたりしました。反復の練習の際にはどの参加者も感情を込めて話をされるので、臨場感あふれるワークとなりました。

当院では、がん患者さんの身体的・社会的・精神的及びスピリチュアル的苦しみを和らげることを目的として、緩和ケア認定看護師を含めた多職種チーム（がんサポートチーム：CST）を設置し、専門分野を生かしたサポート体制を整えています。患者さん又はご家族の方で苦しみを抱えている方、自身の人生の意味を見つめなおしたいという方は一度お訪ねください。チーム一丸となってサポートさせていただきます。

○連絡先窓口：地域医療連携室SW 有友 眞田  
呼吸器内科医師



# 早島町 ふれあい 講座を実施しました

統括診療部長 木村 五郎

9月16日(土)、早島町ゆるびの舎で、ふれあい講座「呼吸器疾患の予防と治療について」の講演を約1時間行いました。台風前日の風雨の強い日でしたが、約40名が来場されました。

初めに当院の沿革、診療内容を紹介し、続いて痰検査、放射線画像、呼吸機能、気管支鏡など、呼吸器疾患の検査法についてお話ししました。また各論として肺炎、結核、肺癌、喘息などそれぞれの疾患の予防、診断、治療について、当院での診療風景もまじえて、できるだけわかりやすくお話ししました。熱心に聞いていただき、講演後は、多数質問があり、病気の予防、誤嚥性肺炎、結核診療などについての関心の高さを感じました。なかには、ご自分の病気について、専門の病院をどのように選んだらよいかとの切実な質問もありました。

地域(早島町)住民の方は当院について結核療養所のイメージを持っている方も多いと思われそうですが、このような紹介の機会を利用して、今後、より当院を理解し、利用していただくよう努めていきたいと思っております。



9月20日に、国立病院機構本部で作成している外部向け広報誌の記事掲載のため、当院癒し課長である山羊のみなみ君へ取材がありました。



みなみ君は平成17年5月に岡山県立瀬戸南高等学校で生まれ、平成17年10月から南岡山医療センターの職員となり、癒し課長として12歳になった現在でも地域の皆様や病院職員へ癒しと笑顔を提供してくれています。

記事は下記のとおりインターネット上でも掲載されます。また当院ホームページ上でも「みなみ君日記」という記事を掲載しておりますので、興味のある方は是非ご覧になって下さい。

掲載時期：11月初旬

掲載予定：広報誌「NHO PRESS～国立病院機構通信～」第5号  
企画「NHO ～こんな取り組みもしています～」

HPアドレス：[http://www.hosp.go.jp/nho\\_press.html](http://www.hosp.go.jp/nho_press.html)  
(「NHO PRESS」で検索できます)



## 独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066  
電話(086)482-1121(代表)  
FAX(086)482-3883  
<http://www.sokayama.jp/>

